

旧秋元小学校複合整備事業 基本計画 〔概要版〕

1 テーマと施設イメージ

□テーマ 「持続可能な地域づくり」を目指して

□施設イメージ 「人がつどい、にぎわいが生まれる、持続可能な新たな地域の拠点」づくり

2 基本理念・基本方針

(1) 施設複合化の基本理念

- ① 地域の人びとのための複合施設
- ② 人びとの交流・新たな関係性を生み出す複合施設
- ③ 未来のための複合施設
- ④ 情報の提供・共有化による共通の価値の創造ができる複合施設
- ⑤ 地域外から訪れる人びとを地域に呼び込む複合施設

(2) 施設複合化の基本方針 「SEIWA」

- ① SAFETY (安心安全) SPEEDY (素早い) SATISFY (満足) SUSTAINABILITY (持続可能性)
- ② ENERGY ～地域活力を最大限に活用～
- ③ INFORMATION ～情報の提供・共有～
- ④ WORTH ～訪れる価値がある施設づくり～
- ⑤ ACTION ～共通の目的に向かって行動を起こす～

基本構想における4つのS (①) の基本方針に②から⑤を加え、それぞれの頭文字をとった【SEIWA】を基本方針とします。

3 複合施設導入機能の整理

(1) 行政機能

以下の行政機能を複合化することにより、総合的な市民サービスの向上を図ります。また、複合化のメリットを最大限に活かした新たな行政機能・組織・取り組みのあり方を検討し、持続可能な地域づくりを支える拠点として整備します。

①公民館機能

図書サービスコーナー、文化財資料活用コーナーを持つ清和公民館が機能することで、地域の学習文化活動の蓄積と各複合施設の機能や特色、地域内外の人の力を相互につなぐハブ的な事業を展開し、生涯学習・地域活性化等の拠点としての役割を担います。また、地域の様々な場所に出向く事業展開で、広い清和地区における学習文化活動を支援します。

②行政センター機能

市役所の出張所としての機能に加え、デジタル技術を活用し本庁におけるサービスを身近に利用できる仕組みなどにより、地域の暮らしを支える拠点を目指します。

また、災害時には地区拠点として、情報の収集・発信と広報の円滑化を図り、災害対応に必要な対策室及び電源、資器材等を確保し、地域防災力を強化します。

③保育園機能

清和地区の子育てを支える地域の拠点として、これまでの規模での保育園運営を見直しつつ、子育て世代の視点に立ち、一時預かり保育の拡充など、支援サービスを提供できる体制を整備します。

また、他の行政機能等との複合施設としての利点を最大限に活かし、各機能との連携や、地域住民等との多世代交流により、お互いが見守り・支え合いながら、地域ぐるみで子育てをする保育園づくりを目指します。

④避難所機能

災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、被災者が一定期間生活する場所として屋内運動場及び管理教室棟の一部を避難所として指定します。さらに、物資や資機材等を備蓄する防災備蓄倉庫を整備します。

また、これら防災設備と地区拠点機能を最大限に活かし、地区防災の中核を担う役割が果たせるよう、行政と住民が協働の防災体制の構築を目指します。

(2) 提案機能

上記の「テーマ」や「施設イメージ」にむけた、地域活性化・地域活力の創造・地域課題へのアプローチに資する機能として、地域提案やその他の提案に基づく機能を導入します。なお、これらの機能は指定管理者や地域運営組織が担うことをイメージし、導入方法や詳細は、「旧秋元小学校複合整備地域準備会」における議論も踏まえながら、基本設計段階にて精査します。

①飲食	カフェ等の設置が可能なエリアを配置。
②販売	マルシェ等販売が可能なエリアを配置。移動販売車の停留所や拠点を検討。
③観光	1階エントランスホールや2階ロビーに情報発信コーナーを配置。
④健康・福祉	スタジオ（健康増進）、和室、多目的ホールを活用。
⑤遊び・学び	各種教室の開催や、ロビーを活用した子ども向け読み聞かせ、学習指導など。
⑥子ども	子育て世代のために放課後、子どもが過ごすためのスペースを配置。
⑦文化(郷土芸能)	諸室や屋内運動場を伝統芸能や祭りの継承のための場とする。
⑧オフィス空間	ICTやWi-Fi環境を整えたレンタルオフィスやコワーキングスペースを配置。
⑨ものづくり	アナログの工作機械から3Dプリンターなどの電子工作ツールを備えた施設として「郷の図工室」を配置。

4 構成施設の配置案及び土地利用計画案

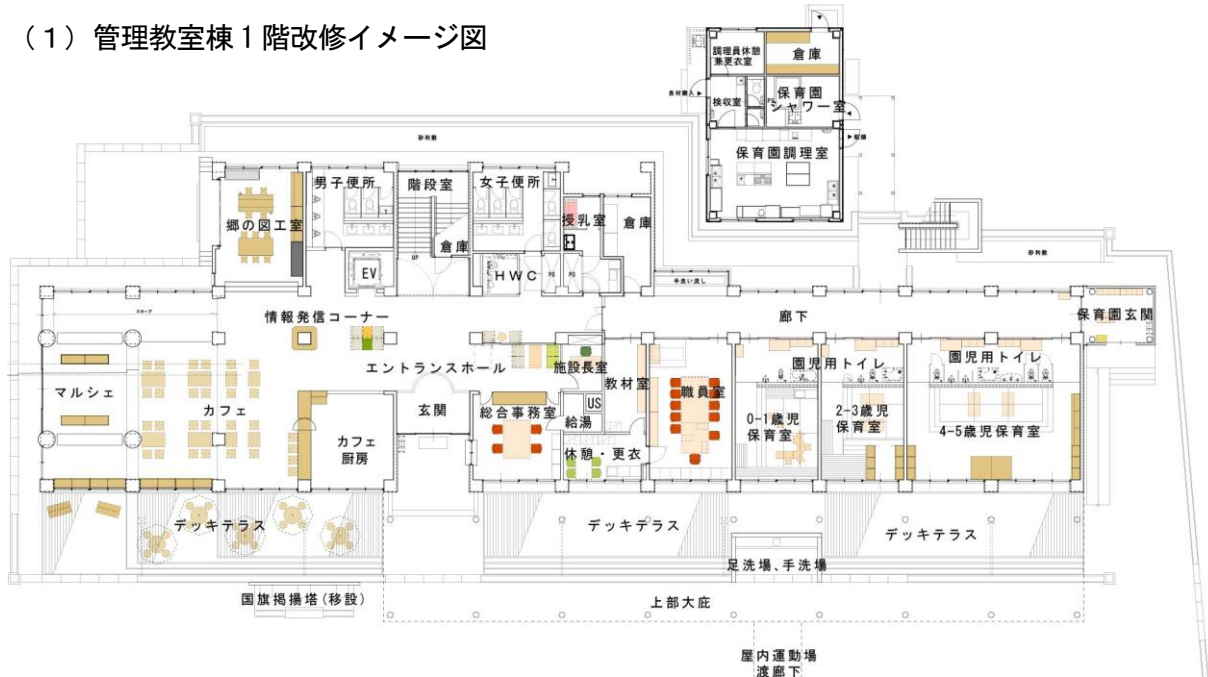
「構成施設の配置案及び土地利用計画案」は、今後の協議や基本・実施設計を進めるうえでのたたき台の案として作成したものであり、今後の協議の中で変更をする可能性があります。

1 一般利用者用駐車場
 2 進入路・退出路 ※別途、計画を検討します。
 3 路線バス・バス待合・移動図書館・移動販売車など停留場 ※図左下の休憩所・トイレ等の設置は、将来的に検討します。
 4 外周道路拡幅 ※別途、計画を検討します。
 5 グラウンド (複合遊具・芝生広場)
 6 職員用駐車場
 7 保育施設送迎用駐車場
 8 渡り廊下・テラス

5 改修イメージ図

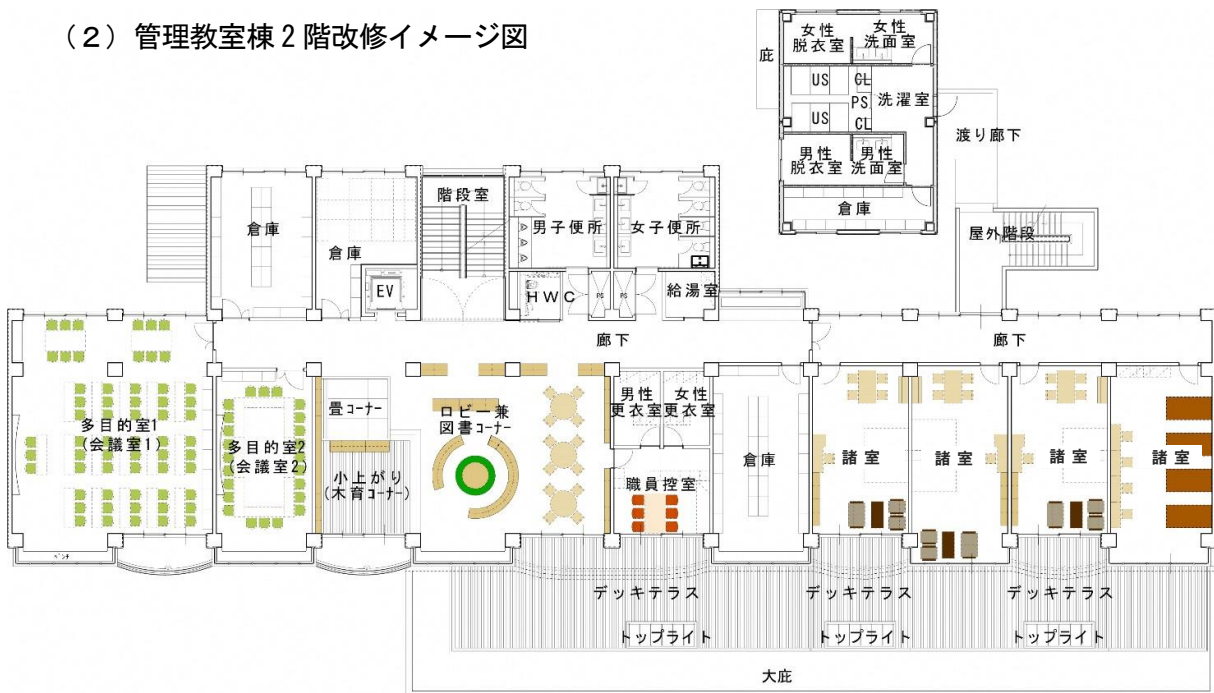
「改修計画イメージ図」は、今後の協議や基本・実施設計を進めるうえでのたたき台の案として作成したものであり、今後の協議の中で変更をする可能性があります。

(1) 管理教室棟 1階改修イメージ図



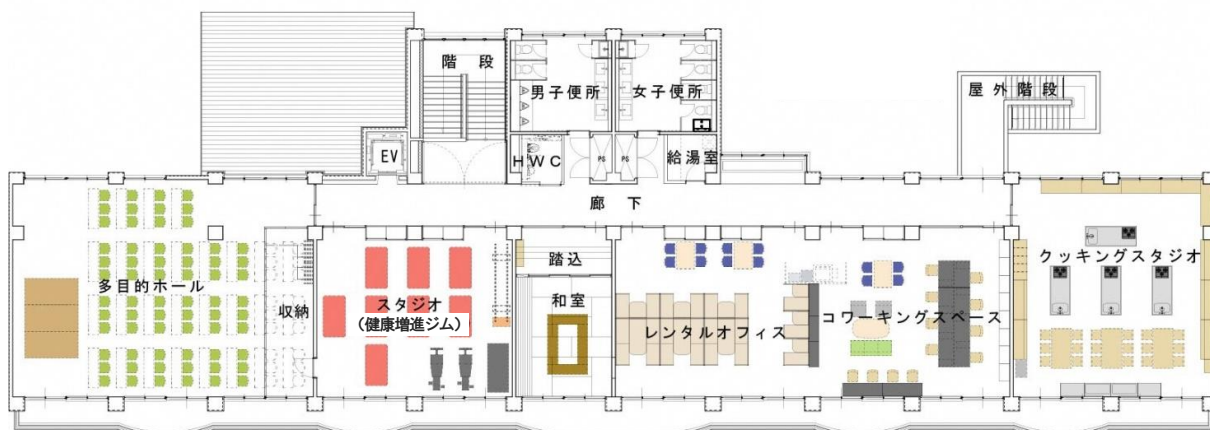
- ・複合施設主出入口(玄関)、エントランスホール、窓口及び事務室、情報発信コーナー、保育園、カフェ等飲食機能、マルシェ等販売が可能なスペース、郷の図工室等の配置を計画します。
- ・事務室、保育室や調理室棟のあり方等を含め、今後の基本設計において引き続き検討します。

(2) 管理教室棟 2階改修イメージ図



- ・ロビー兼図書コーナー、多目的室、倉庫などの配置を計画します。
- ・諸室としている部屋の用途や調理室棟2階のあり方等を含め、今後の基本設計において引き続き検討します。

(3) 管理教室棟3階改修イメージ図



- ・多目的ホール、スタジオ、和室、クッキングスタジオ、レンタルオフィス・コワーキングスペース等を配置します。

(4) 屋内運動場

平成28年度の耐震補強工事の際に外壁、便所、体育教官室・控室・ステージ・倉庫側屋根は改修済みですが、屋根は既存のままでは今後の災害等による雨漏りも懸念されることから改修を行います。

6 概算工事費

本基本計画に記載する整備を全て実施すると概ね11億円（建築工事・電気設備工事・機械設備工事・外構工事含む）の見込みとなりますが、整備内容について基本設計において再度精査しながら工事費の再検討を行うとともに、特定財源の活用などの検討を進めます。

7 全体事業スケジュール（案）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
敷地測量	←→		
基本・実施設計	←→		
工事		←→	←→
供用開始			●一部 ●全面

構造安全性の確保のための工事に時間がかかるため、供用開始を2段階に分ける方法（上表）やその他の方法を、今後基本設計にて詳細検討を行い、精査していく必要があります。